

## 平成23年度当初予算

# 変革と挑戦を貫き、改革と成長へ

大阪府ではこれまで「財政再建」「府庁改革」「政策創造」を3本の柱に変革と挑戦に取り組んできました。平成23年度もその姿勢を貫き、さらに前に進みます。治安力の強化など、府民生活の安全・安心を確保する施策に取り組みながら、“子どもが笑う”ための教育・子育て関連の施策、また中小企業支援や都市魅力の創造など、大阪が成長するための施策に力を入れていきます。

## 子どもが笑うために 教育・子育て日本一

### 教育で大阪全体を底上げ

大阪の発展を支える子どもたちの教育環境を充実することで、大阪全体を底上げし、成長につなげます。

■私立高校等の授業料無償化の拡大 110億8,025万円  
平成23年度の新1年生から、公立高校・私立高校・高等専修学校を問わず、より自由な学校選択ができるよう、授業料の無償化を大幅拡大します。

年収区分	国と府による 支援額の合計	保護者負担
610万円未満	580,000円	0円
800万円未満	480,000円	100,000円
800万円以上	118,800円	461,200円

※平成23年度の新1年生から適用

※府内の平均的な私立高校の授業料58万円をもとに算定(学校によって保護者の負担額が異なります)

■中学校給食の導入を促進 246億円(平成23~27年度)  
学力や体力の根幹となる中学生の「食」を充実し、大阪の教育力向上につなげるため、中学校給食を導入する市町村を支援します。 ※政令市をのぞく

■実践的キャリア教育・職業教育の推進(府立・私立高校) 1億3,800万円  
専門学校や企業などと連携し、生徒のニーズに応じたキャリア教育・職業教育プログラムを実践する学校を支援することにより、就職内定率の向上と進路未定者の減少を図ります。

### 子どもたちに「使える英語」を

子どもたちに、国際社会で自立できる英語力を身に付けさせます。  
■使える英語プロジェクトの推進(公立小・中学校、府立高校) 3億1,261万円  
研究指定校において、英語を活用する力を育成するための指導方法などの研究を行い、その成果を府内に広めます。 ※政令市をのぞく

■実践的な英語教育を行う高校の支援(府立・私立高校) 5億円(平成23~24年度)  
アジアや世界で活躍できるリーダーを育成するため、「TOEFL iBT」の成績優秀者を支援します。  
※TOEFL iBT…英語圏の大学へ留学等を希望する者を主な対象とした英語能力測定テスト

### 子どもたちに確かな「学力」を

■府独自の学力・学習状況調査の実施(公立・私立小・中学校) 1億2,489万円  
学力等の実態を把握するとともに教育活動の成果や課題を分析・検証し、今後の教育施策の改善につなげます。  
対象:小学校6年生(国語、算数)、中学校3年生(国語、数学、英語)

■学力向上重点校支援プロジェクト 3,287万円  
府教育委員会と市町村教育委員会が連携して「学力向上計画」と「支援計画」を作成し、学力向上に取り組む公立小・中学校150校を支援します。  
※政令市をのぞく

### 障がいのある子どもたちの教育環境の充実

■知的障がい支援学校の新校整備 5億8,458万円  
支援学校における知的障がいのある児童生徒数の増加への対応や、就労を通じた生徒の社会的自立を支援するため、府内4地域で新校を整備します。  
■知的障がい支援学校4校の高等部に「職業コース」を設置 617万円  
■障がいのある子どもたちの学校生活の支援(府立・私立高校) 1億1,494万円  
生徒一人ひとりの障がいの状況に応じ、学習支援員、介助員等を配置することなどにより、障がいのある生徒の学校生活や学習を支援します。

### 学校力の向上をしっかりとサポート

■校長のマネジメント力の強化(府立高校・支援学校) 2億3,350万円  
各校で作成した学校経営計画を推進するため、校長裁量予算の充実などにより校長のマネジメント力を強化し、学校経営を支援します。

■がんばった学校の支援(府立高校・支援学校、私立高校) 2億円  
平成22年度等に顕著な成果をあげたり、優れた取り組みを実践した学校に対し支援を行うことで、さらに質の高い教育効果を生み出すことをめざします。

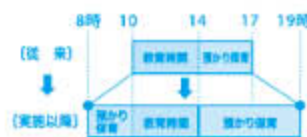
### 待ったなし。児童虐待防止

痛ましい出来事を繰り返さないため、発生予防・子育て支援、早期発見、早期対応(保護等)・支援、再発防止など総合的に児童虐待防止に取り組みます。

■児童虐待防止対策の強化 15億1,506万円  
○市町村における早期発見力の強化 ○一時保護機能の強化  
○家族再統合の支援 ○障がい児者虐待防止の推進  
○子ども家庭センター等の体制充実 など

### 子育て支援の充実

■私立幼稚園預かり保育時間延長の促進 6億2,080万円  
働きながら安心して私立幼稚園に子どもを預けられるよう、保育所並みの11時間開園や休日、夏休み保育などサービスの拡大を支援。平成23年度は約200園での実施をめざします。  
■発達障がい児地域療育システムの整備 3,080万円  
発達障がい児の早期発見、早期療育を行うため、市町村において専門的な療育の場を確保します。



## 大阪が成長するために

### “世界へ、新分野へ打って出る”中小企業を支援

経済がグローバル化する中、高い技術力を生かして世界や新分野への進出をめざす中小企業を支援します。

■制度融資による資金サポート  
中小企業の資金繰りを強力に下支えします。  
・中小企業の元気アップを後押しするための融資  
(成長支援型融資、金融機関提案型融資) 融資枠1,920億円  
・経営安定を図るためのセーフティネット融資 融資枠6,000億円

■MOBIOにおけるものづくり中小企業への支援 1億4,862万円  
MOBIO(ものづくりビジネスセンター大阪)において、技術・販路・経営等の相談、知的財産に関する支援など、ものづくり中小企業へのワンストップサービスを展開します。

■返済困難者に対する相談支援を強化 1,972万円  
借金が膨らみ返済が困難になった府民の方を対象に、過払金返還を含む債務整理を自分でできるよう府が手続きを無料で支援します。また、生活再建など総合的な支援を行います。

## “大阪の強み”を生かす「次世代産業の振興」

### ■新エネルギー産業の振興

・ものづくり中小企業の新エネルギー産業への参入促進 5億7,958万円  
新規参入に向けた、連続講座の開催や研究開発への助成を行うとともに、産業技術総合研究所に新エネルギー技術開発支援のための高性能試験機器を導入します。

・大阪EV(電気自動車)アクションプログラムの展開 2,356万円

・大阪スマートエネルギープロジェクトの推進 856万円

オール大阪・関西でスマートエネルギー技術(新エネ・省エネ技術などの環境配慮型エネルギー技術)の社会プロジェクトを創出するなど国際的競争拠点を形成します。

## 他都市を圧倒する都市魅力の創造

### ■大阪ミュージアム構想の推進

大阪の魅力を一挙でプロデュースし国内外へ発信します。

・おおさかカンヴァス推進事業 1億9,214万円

大阪のまち全体をカンヴァスに見立て、アーティストの発表の場として提供します。

・大阪マラソン 1億円

・大阪サイクルイベント 4,732万円

■水都大阪の魅力向上 11億732万円

橋のライトアップなど水辺とその周辺の景観を整備するとともに、官民連携によるイベントを開催し、にぎわいを創出します。

■統合型リゾート(IR)の大阪立地プロモーション 1,496万円

国における法制化の動きを踏まえ、大阪へのIR立地に向けた基本コンセプトづくりに必要な海外のデータ収集やセーフティーネット対策等に関する調査をすすめるとともに、シンポジウムの開催など、府民の皆さまにIRについての理解を深めていただく取り組みを実施します。

※統合型リゾート(IR)…国際会議場や展示施設、ホテル、ショッピングモール、レストラン、劇場、アミューズメントパーク、カジノ等が一体となった複合観光集客施設

### ■大阪産(もん)のブランドイメージの向上

515万円

大阪産(もん)に関する優れた活動を表彰するとともに、ブランドイメージの向上につながる取り組みを支援します。

※大阪産(もん)…大阪府で栽培される農産物、畜産物、林産物、大阪湾で採取され大阪府内の港に水揚げされる魚介類。大阪の特産と認められる加工食品

## 官民協働で「みどりの風」を感じるまちづくり

### ■みどりの風を感じるまちづくり

7億4,906万円

「みどりの風促進区域」を指定し、公有地、民有地の一体的な緑化を促進します。あわせて、沿道の民有地の緑化の支援や公立小学校の運動場の芝生化をすすめます。

### ■中之島にぎわいの森づくり

3億3,242万円

中之島の堂島川の川辺をみどりと遊歩道でつなぎ回遊性を高めます。また、カフェ等の店舗を民間事業者が出店することにより、にぎわいを創出します。

### ■都市農業の再生

886万円

企業や都市住民の農業への新規参入を積極的に支援し、競争力、成長力の高い都市農業の再生を図ります。

## 戦略的な都市基盤経営にシフト

### ■都市インフラの長寿命化の推進

30億円

高度成長期に整備した都市インフラが、今後一斉に更新時期を迎えるため、施設の損傷が小さいうちに補修を行い、長寿命化を図ることでライフサイクルコストを削減します。

### ■新たな治水対策の推進

2億700万円

さまざまな降雨を想定した氾濫解析を行うことにより河川ごとの洪水リスク(危険度)を評価し、今後20~30年の治水目標を設定するとともに、評価したリスクを分かりやすく公表します。

### ■槻尾川の治水対策(河川改修)

8億8,580万円

地元や関係機関と連携し、真に水害に強いまちづくりに向けた取り組みを実施します。

### ■安威川ダム事業の推進

55億8,530万円

## 府民生活の安全・安心の確保

### 「治安力」を徹底強化

平成22年、大阪府は街頭犯罪及びひったくりの認知件数の全国ワースト1を返上。さらなる治安力の向上に取り組みます。

■警察官の増員 1億2,305万円

増員幅で警視庁に次ぐ86人の増員を行い大阪の治安力を高めます。

### ■総合治安対策の推進

・繁華街等への防犯カメラの整備 4億3,442万円

・警察装備品の充実 4億1,614万円

### がん対策・医療体制の充実

■がん予防対策重点プロジェクト 7,500万円

がん検診対象者を正確に把握した台帳の整備をすすめるとともに検診機関の充実を図ります。また、市町村や企業等と一体となって普及啓発活動を行うことで、全国平均と比べ非常に低い状況にあるがん検診の受診率の向上に取り組みます。

■救急医療情報システムの整備・運営 4億6,634万円

救急医療機関などの情報をホームページ上で分かりやすく公表します。また、消防・医療関係者間の情報ネットワークシステムを整備・運営することにより、より円滑な救急患者の搬送、病院への受け入れをめざします。

■周産期医療体制の整備 8億6,799万円

安心して子どもを産み育てることができるよう、高度専門的な周産期医療を行う周産期母子医療センター(22施設)に対して助成を行うなど、周産期医療体制の充実を図ります。

■災害時の医療体制の機能強化 22億3,721万円

災害拠点病院等の耐震改修工事を行うとともに、災害用の医療機器や患者の広域搬送を可能にするための臨時医療施設(SCU)などを整備します。

### 安全・安心な住宅の確保

### ■住宅耐震化の緊急促進

1億9,709万円

木造住宅の耐震化に関する補助を分かりやすく、使いやすい制度に見直し、充実します。また、地域・行政・民間が一体となってまち単位での耐震化を促進します。

<補助制度の概要>



4.5万円を補助  
(自己負担1割以上)

10万円を補助  
(自己負担3割以上)

40万円又は60万円を補助  
(所得により額が変わります)

※詳しくはお住まいの市町村の担当窓口へお問い合わせください

### ■あんしん住まい確保プロジェクト

500万円

高齢者向け住宅や福祉施設等の供給など、住宅市場全体で新たな住宅セーフティーネットの実現に向け、制度の構築や早期に実現可能なプロジェクトの実施検討に取り組みます。

### 障がい者の就労と自立をしっかりと支援

### ■大阪府ハートフルオフィスの推進

4,322万円

大阪府庁において知的障がい者、精神障がい者の雇用(チャレンジ雇用)を大幅に拡大。一般企業等への就労につなげます。

### ■障がい者雇用促進センターの機能強化

2,990万円

障がい者雇用促進センターの専門員を増員し、機能を強化。企業等に対して障がい者の雇用に向けた働きかけや支援を実施します。